

花 橘

武者震い

校長 中井賢哉

今からちょうど30年前のことになります。私の教員人生は愛媛県の東端、四国中央市の三島高校で始まりました。校舎を照らす温かい春の日差し、桜の花びらが舞う中、登校する生徒たちを見て、これからこの生徒たちのために自分は何をしなくてはいけないのか、何ができるのか考え、武者震いしたことを今でも鮮明に覚えています。

その後順調に西へ西へと転勤を繰り返して、愛媛県の最西端の三崎高校での勤務も二年目を迎えました。以前の勤務先が教育委員会事務局だったため、三崎高校一年目の私は、生徒がいる学校での勤務が嬉しくてたまりませんでした。その上、更にうれしい驚きだったのは、本校に対する地域の支援体制です。スクールバスによる快適な通学、遠方から入学した生徒に対する寮の整備、校内公営塾「未咲輝塾」での学習支援など手厚いご支援でした。これらは、伊方町や同窓会をはじめとする地域の方々の三崎高校に対する期待の証だと考え、お引き受けする校長としての職責の重さを日々痛感しております。

少し話が戻りますが、私は10年間教育委員会事務局で勤務しておりました。その間に高校を取り巻く教育環境は大きく変化しました。生徒側の視点でいうと、コロナ禍で加速した電子黒板や一人一台端末をはじめとしたICT機器の急速な普及です。また、教師側の視点に立つと、主体的・対話的な深い学びの視点に立った授業改善を軸とした新学習指導要領の実施で10年前とは大きく様変わりしていることに驚きを隠せません。

しかし、そのような状況ではありますがメロデーラインの桜が咲き誇る中、会釈をして横断歩道を渡る本校生徒の姿は、30年前に見た高校生と何ら変わりありません。そして、私もまた、これからこの生徒たちのために自分は何をしなくてはいけないのか、何ができるのか考え、武者震いすることでしょう。三崎高校を支えてくださる全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、生徒・学校・地域のため、学びと挑戦の1年が始まります。二年目もよろしく願っています。

発行日
令和6年4月11日
第1号
発行・編集
三崎高校総務課

転入者紹介

新しく7名の先生方をお迎えしました。

氏名	役職	教科	氏名	役職	教科
松田 猛	教頭	数学	佐竹 真琴	講師	保健・体育
重松 尚斗	教諭	地歴・公民	山口 優花	教諭	芸術
宮崎 涼	教諭	数学	近藤 小百合	スクールライフアドバイザー	—
元山 順	講師	理科			

令和6年度三崎高等学校入学式

4月9日（火）に入学式を行いました。54名の入学生は、緊張した様子でしたが、保護者の皆様、来賓の皆様、先生からの温かな拍手に迎えられて高校生活の第一歩を踏み出しました。新入生代表の市尾瞳さんは、中学生の時から憧れていた部活動と伊方町の活性化に組みたいと力強く宣誓しました。式辞で中井賢哉校長先生は、新学科「社会共創科」の一期生として一歩踏み出し、思い切ってやり始めて欲しいとエールを送っていました。新入生は三崎高校に新しい風を吹き込んでくれることでしょう。教職員一同、全力で高校生活を指導・支援してまいります。

